

コンポジットハイウェイコンベンション2018を開催

Written by Yosuke Ohnishi on January 31, 2019

2018年12月20日(水)、コンポジットハイウェイコンベンション2018が名古屋大学東山キャンパス 坂田・平田ホールにて開催された。本イベントは、コンポジットハイウェイコンソーシアム()の3センター(革新複合材料研究開発センター(ICC)、名古屋ナショナルコンポジットセンター(NCC)、岐阜大学 Gu コンポジット研究センター(GCC))が持ち回りで毎年開催しており、CFRPに関わる川上、川中、川下ユーザー、中堅・中小企業、大学、公設試等が多数集まり、ニーズ、シーズ等の技術情報と人的交流の場として活用されている。

イベントプログラムとして、海外招聘者の基調講演、コンポジットハイウェイ活動報告、コンポジットハイウェイ・アワードの2次審査企業のプレゼンテーション及び受賞企業の発表、企業のパネル展示が用意されている。

今年の基調講演は、オランダ FOKKER 社 Arnt Offringa 氏による「Thermoplastic Composites in Aerospace: Past, Present and Future」および、韓国 KCTECH Kyusoon Park 氏による「Global trends of CFRP & R&R of KCTECH」の2本立てであった。

FOKKER 社はオランダを拠点として、民間航空機・防衛産業向けに航空機部材、電気配線システムやランディングギアなどを開発・製造するメーカーであり、コンポジットに関しても、エアバス、TenCate、Dornier 他と共同開発プロジェクト「TAPAS (Thermoplastic Affordable Primary Aircraft Structure)」に参画し、航空機への熱可塑性複合材料の適用開発で、多くの成果をあげている。



Arnt Offringa 氏による基調講演の様子

基調講演でも、熱可塑性樹脂を使用した CFRP を飛行機に社会実装した例が取り上げられ、聴講者は FOKKER 社の先見性と継続した取り組みが社会実装および技術力の差として表れてきたことに感心していた。

KCTECH(Korea Institute of Carbon Convergence Technology)社は、韓国では唯一の政府

出資による CFRP の研究機関であり、新技術の開発、中小企業の技術支援、クラスター活動等を行い、また地域経済の促進に中心的な役割をはたしている研究機関である。

コンポジットハイウェイ活動報告では、(公財)名古屋産業科学研究所 渡辺 裕吉氏から立ち上げから現在までの取組や進捗状況、これまでに構築したネットワークが深化しマッチングが推進されている旨が報告された。また今後の活動方針として、海外コンソーシアムとの連携強化、先導的プロジェクトの推進や広域連携を視野に入れた新規案件の発掘が挙げられる中、革新複合材料研究開発センター 鵜澤所長は発足 4 年を迎え、中部経済産業局の支援から自立した活動へつなげる転換期であり、ネットワークの場の提供、研究開発を事業化するための支援を継続していくと説明した。鵜澤所長の「自立した活動」という言葉には、価値を提供し続けられる磐石なコンソーシアムを作るという強い意志が感じられた。関係者は「今年からパネル展示に参加費が発生しているがユーザー企業が参加意義を感じてパネル出展してくれた。コンソーシアムの活動内容および目的に共通の理解が得られてきている。」と感想を述べていた。



今後の活動方針を示す鵜澤所長

続く、コンポジットハイウェイ・アワードのプレゼンテーションでは、4 部門の 1 次審査を通過した 12 社によるプレゼンテーションが行われ、即日アワード受賞企業が以下の通り発表された。

(1) 素材部門：炭素繊維の織物、シート等の中間基材やプリフォーム

アワード受賞企業

グランプリ 該当なし

準グランプリ「カジレーネ株式会社」「タジマ工業株式会社」

(2) 成形技術部門：プレス、引き抜き、射出等の CFRP の成形技術

アワード受賞企業

グランプリ「株式会社アドウェルズ」

準グランプリ「株式会社豊電子工業」

(3) 製品部門：CFRP (他材料とのハイブリッド材含む) を用いた製品

アワード受賞企業

グランプリ「小松マテール株式会社、京都大学、物質・材料研究機構」

準グランプリ「株式会社ラビート」

(4)リサイクル部門：CFRP のリサイクル技術及び材料を用いた中間基材や成形品

アワード受賞企業

グランプリ 該当なし

準グランプリ 該当なし



コンポジットハイウェイ・アワード受賞機関による集合写真

コンポジットハイウェイ・アワードは、NCC、ICC、GCC と連携して、中堅・中小企業 CFRP に関する技術・製品のうち、国内サプライチェーンの構築につながるものとして、ユーザー企業等からの評価が高い優れた技術・製品を表彰しており、アワード受賞企業には「JEC World」における「Startup Booster」への推薦を行うなど、国内中堅・中小企業の優れた技術の紹介の場を提供している。

今回、基調講演で登壇頂いた Offringa 氏、Park 氏をはじめ、優れた技術・製品を持つ企業が一堂に会したことでネットワーク拡大および企業マッチングの推進に繋がり、また会場を埋め尽くす参加者数 246 名、パネル展示 33 機関により盛況の内に終了した。

コンポジットハイウェイコンソーシアム

平成 26 年 11 月、東海・北陸地域の炭素繊維複合材料 (CFRP) の研究開発拠点を有する 3 大学と中堅・中小企業等の技術開発を支援する公設試等の 8 機関による「コンポジットハイウェイコンソーシアム」を立ち上げ、産業界が求める多様なニーズに応える研究開発・人材育成のプラットフォームとなる場の提供、産業の特性・強みを相互に補完した産産・産学連携のマッチング、人 (研究者等) や情報 (シーズやニーズ) が行き交う連携・交流を活発にすることで、CFRP に関する研究開発・人材育成の一層の加速化を図り、研究開発から生産・加工・組立までを行う一大拠点・産業集積の形成を目指す。(「コンポジットハイウェイ構想」)